

2026年01月28日（倫理委員会承認日）

IABP（大動脈バルーンパンピング）/VA-ECMO（静動脈体外式膜型人工肺<PCPS>）の治療を受けた患者さんへ 【通常診療データの調査研究への使用のお願い】

公立藤岡総合病院診療支援部リハビリテーション室では「IABP(大動脈バルーンパンピング)/VA-ECMO(静動脈体外式膜型人工肺<PCPS>)使用における腓骨神経麻痺の出現頻度」という臨床研究を行っております。この研究は、これまで十分に検討されていない IABP(大動脈バルーンパンピング)/VA-ECMO(静動脈体外式膜型人工肺<PCPS>)使用と腓骨神経麻痺の合併症出現がどのように関連するか、頻度はどの程度かを調べることを主な目的としています。そのため、対象調査期間中に IABP/VA-ECMO<PCPS>による治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- ① この調査研究は公立藤岡総合病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：倫理委員会承認日 ～ 2027年3月31日
対象調査期間：2019年11月1日 ～ 2026年1月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に IABP/VA-ECMO<PCPS>による治療を受けた患者さんのカルテです。
情報：年齢・性別、疾患名、手術名、重症度、治療・手術内容、画像所見、IABP/VA-ECMO<PCPS>使用期間、合併症の有無、その他薬剤の使用の有無、リハビリテーション実施状況、身体機能、日常生活動作能力、退院時転帰、在院日数 等
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は藤岡総合病院に帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

公立藤岡総合病院 診療支援部リハビリテーション室 主任 石川雄太

研究責任者：診療支援部リハビリテーション室 主任 石川雄太

TEL：0274-22-3311(代) FAX：0274-24-3161(代)